

当館は、加賀市の玄関口であるJR加賀温泉駅前にある、市内唯一の総合美術館です。

加賀江沼の美術工芸を紹介する企画展や石川県を代表する展覧会の巡回展、絵画や工芸など様々な分野の作品展を行っています。

館蔵品として西出大三(截金工芸で人間国宝)、山田宗美(鉄打出工芸)、佐々木泉景(加賀藩御抱絵師)、森本仁平(洋画)、碓伊之助(洋画・陶芸)など、加賀市ゆかりの作家作品が収蔵されており、随時公開しています。

また、市民の創作活動と発表の場を提供し、市民の多様な芸術文化を支援しています。

館蔵名品展

館蔵名品展では、山田宗美の鉄打出工芸、西出大三の截金工芸、森本仁平の風景画をはじめ、大聖寺出身の加賀藩お抱え絵師、佐々木泉景や大聖寺藩士が描いた掛け軸・屏風の数々、山中木地挽物の第一人者である人間国宝、川北良造の秀作を展示しております。



■館蔵品 ※館蔵名品展で随時公開しています。



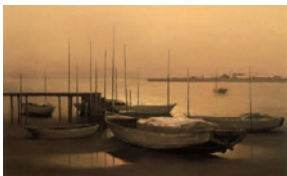
やま だ そう び
山田宗美
明治時代

「鉄打出工芸」は、延属性に乏しい一枚の薄い鉄板を、均一の厚さを保ちながら、金槌で打ちのばし打ち絞り、立体作品を造形する技法。大聖寺藩御用の刀剣鍛冶師の家柄に生まれた山田宗美(1871～1916)が、苦心の末に編み出した“超絶技巧”である。今にも跳びはねそうな緊張感みなぎる造形は見事で、彼が手がけた鉄打出工芸作品の中でも代表格といえる優品である。



にし で だいぞう もくちょうりかねごうす おしどり
西出大三 木彫截金合子「鶯」
昭和44年(1969)

截金は金箔や銀箔を細い線や小さな三角・四角・菱形などに切って貼り付け文様を作る技法。強い輝きと鋭い線による独特の美しさをもつ。加賀市橋立町の旧北前船主の家に生まれた西出大三(1913～1996)は截金の研究と復活に生涯をささげ、昭和60年(1985)、重要無形文化財保持者(人間国宝)に選定された。優雅に水面に浮かぶ鶯を華やかに表現している。



もりもとに へい ゆうしょう ふなつきば
森本仁平 夕照の舟着場
平成7年(1995)

夕暮れの舟着場に佇む小舟。茜色の雲が一面に広がる空と、それを映して風ぐ海。懐かしい温もりが画面から滲み出し、深い郷愁を呼び起こす作品である。森本仁平(1911～2004)は戦後社会派の画家として反戦や物質文明への批判を込めた作品を発表し続けたが、やがて自然風景の風景画へ向かい、日本人の心の原風景を描き続けた。

館内施設案内

■ロビー



美術鑑賞や旅の合間の休憩にごゆっくりおくつろぎください。晴れた日には中2階から霊峰白山の雄大な姿を望めます。

■企画展示室



■ミュージアムショップ



受付にて展覧会図録や当館オリジナルグッズなどを販売しております。

ご利用案内

開館時間 : 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休 館 日 : 火曜日(祝日は開館)、年末年始(12月30日～1月1日)

展示替えによる臨時休館日

観 覧 料 : <名品展> 一般200円、75歳以上100円、団体(20名以上)160円
企画展はその都度定める
高校生以下、障がい者の方は無料



■アクセス

- 電車
「加賀温泉駅」駅前
駅から徒歩2分
- 自動車
北陸自動車道
加 賀 I.C.から約15分
片山津 I.C.から約15分
- 駐車場
アビオシティ加賀の
駐車場をご利用ください

加賀市美術館

〒922-0423 石川県加賀市作見町1-4 <https://kagabi.kagashi-ss.com/>
TEL:0761-72-8787 FAX:0761-72-8789 kagabi@kagashi-ss.co.jp
指定管理者 加賀市総合サービス株式会社



<https://kagabi.kagashi-ss.com/>



@kagabi02



@kagabi8787



加賀市美術館



福田大観 赤地銀彩煎茶急須

令和7年度展示案内 EXHIBITION SCHEDULE 2025.4 - 2026.3

加賀市美術館

KAGA CITY ART MUSEUM

第81回 現代美術展 加賀展

4月25日(金)～5月6日(火)



石川県内最大規模を誇る公募展「現代美術展」の巡回展です。県内在住の重要無形文化財保持者(人間国宝)を筆頭とした石川の美術界をリードする作家から新進気鋭の作家まで、所属会派を超えた幅広い作家の作品を一堂に紹介します。

美術文化大賞
一般財団法人石川県芸術文化協会会長賞
工芸「蒔絵箱『里の灯』」田中義光(会員、輪島市)

没後70年 広田百豊展 (仮)

7月26日(土)～8月31日(日)



広田百豊「農婦図」個人蔵

没後70年を迎えた加賀市出身の近代日本画家、広田百豊の画業を、作品と資料でふりかえります。

百豊は、美人や鳥獣、自然の景物などを得意としましたが、特に郷土の風景や人物に目を向けた作品はそれまでの日本画の型から脱したもので、見る者に新鮮な印象を与えます。

伝統的な日本画壇に新風を吹き込んだ百豊の作品世界をお楽しみください。

第12回 加賀市美術展

10月11日(土)～11月9日(日)



会場風景



加賀の美術文化を代表する作家が一堂に会する年に一度の総合展。人間国宝、川北良造氏をはじめ、第一線で活躍中の作家が多数出品します。加賀市の美術工芸の精華をご覧ください。



※都合により展覧会名や内容、会期等が変更になることがあります。